

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	UGN支部長D	カヴァー	女子高生
	ソラリス		年齢	17	性別	女
オプション	覚醒	憤怒	衝動	恐怖	初期侵食率	34%
出自	疎まれた子		経験	UGN/裏切られた	邂逅	保護者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	4
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	6	1	1			8	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚			意志	3		調達	2	
運転: 2輪	1		芸術:			知識:レネゲイド	2		情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲: 0 合計回避: 0

所持品	
コネ: UGN幹部	
コネ: 手配師	
コネ: 要人への貸し	
思い出の一品	
バイク	
応急手当キット	

ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	タス	消費
Dロイス: 超血統	P	N			
霧谷雄吾	P 尊敬	N 劣等感			
アッシュ・レドリック	P 傾倒	N 恐怖			
速永陽	P 連帯感	N 猜疑心			
メモリアル・オルゴール	P 好奇心	N 不安			
星月巡	P 親近感	N 憐憫			
	P	N			

最大財産P: 20 残り財産P: 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
狂戦士	3	5	メジャー	視界	単体	自動	80↑	
効果: 対象の次のメジャーのCr値を-1、ダイスを+[LV*2]する								
ポイズンフォッグ	2	2	メジャー	視界	範囲(選択)	自動	-	
効果: 組み合わせたエフェクトの対象を[範囲(選択)]にする								
オーバードース	1	4	メジャー/リアク	-	-	自動	100↑	
効果: 組み合わせたエフェクトのLVを+2する。1シナリオに1回								
熱狂	2	2	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果: シーンの間攻撃力を+[LV*3]し、暴走を付与する								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

※《狂戦士》は超血統を加算し、現在4Lv。
AA: セシリア・オルコット (IS/インフィニット・ストラトス)

UGN日本支部所属の支部長兼、高校生。ソラリスシンドロームに覚醒しており、高濃度興奮物質の散布に特化した能力を持つ。なお、支部長とは言え決まった支部を持っている訳ではなく、場合に応じて応援や支部不在の場所に派遣され、調査や支援を行っている。メルヴィナはその中でも特に表沙汰に出来ない任務、所謂汚れ仕事を処理するための任務が専らである。その性質上、あまり一箇所に落ち着くことは少なく、あちこちの学校を転校して回っている事が多い。

もともとイギリス出身であったとの事だが、幼少時に能力に覚醒、それを恐れた両親が厄介払い的にUGNへと預け……言葉を選ばず言えば、捨てたという過去を持つ。UGN所属後も扱いの悪さは変わらず、アッシュ・レドリックの元で汚れ仕事の処理を請け負っていたが、コードウェル博士の帰還に端を発する混乱の中、使い捨ての任務を押し付けられた上瀕死の重傷を負う。その結果精神的に追い詰められ、ジャーム化すらありえた状態ではあったが、霧谷日本支部長との出会いによって何とか持ち直し、彼の保護下で再発することとなった。

本来であれば所属が変わったこともあり、汚れ仕事はやらなくても良いはずなのだが、本人が「慣れているから」と任務の継続を申し出た、という事情がある。